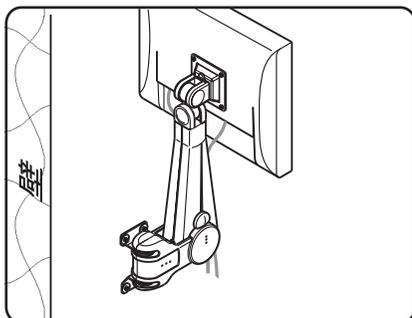
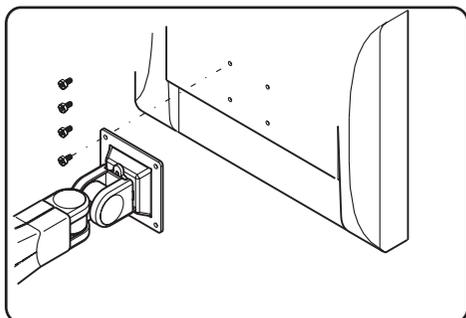
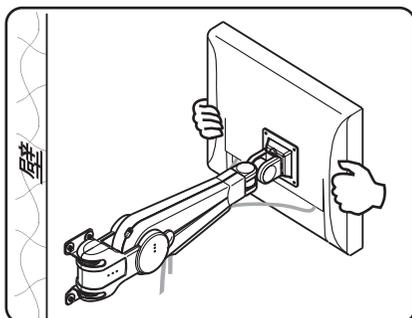
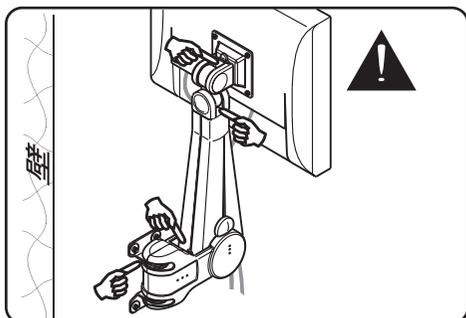
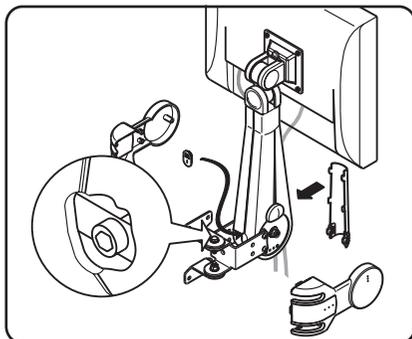
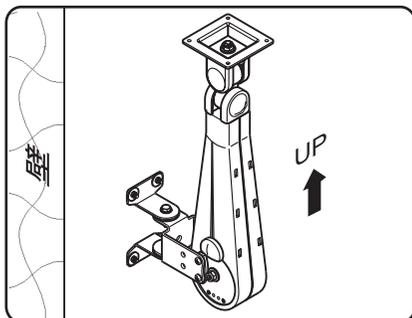


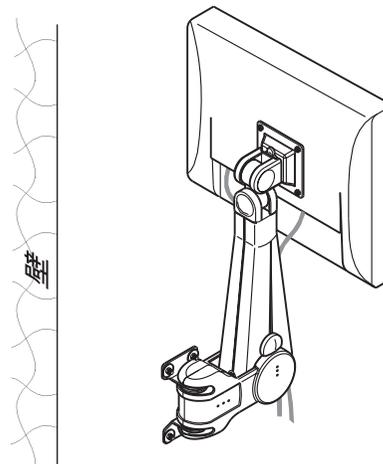
# 11 注意事項：

1. アームが上向に保っているかどうかをご確認ください。
2. 震動がある場所にアームを置かないでください。
3. ハンドル、ゴムキャップ、ボルト以外は部品を取り除かないでください。
4. 怪我を避けるために可動時、関節部を指で触らないでください。
5. アームの表面に他のものを置かないでください。
6. 耐荷重14キロを超えるモニターを取り付けないでください。
7. 両手でモニターの角度を調整してください。
8. 4本ネジでパネルにアームを固定してください。
9. ガスシリンダーの弾力性を保つために、使い終わった後、アームを垂直な状態に戻してください。
10. ケーブルカバーは2本の8mmケーブルを収納することができます。



# LCD モニター アーム

組み立てられる前は、必ずこのマニュアルを正しくお読み下さい。  
お読みになった後は、大切に保管下さい。  
掲載している図面は実際と異なるところもありますが、説明上ご理解頂く為に、わかり易く制作されています。  
各本体と部品が揃っているか確認するまでは、梱包材を捨てないで下さい。  
もし付属部品に漏れがあった場合は、商品を購入されたお店へご連絡をお願い致します。



## 部品リスト

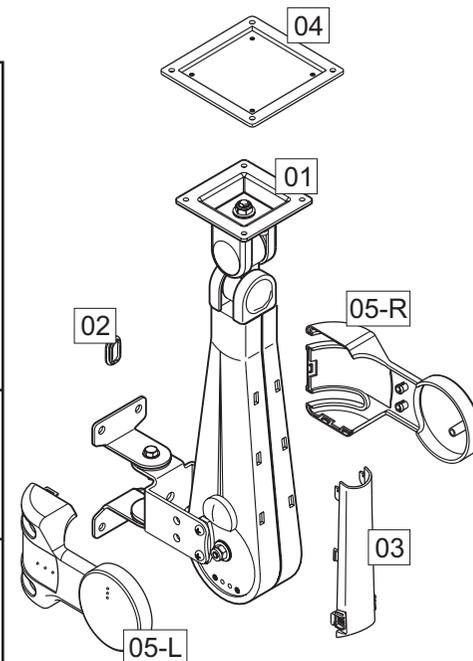
コード	パーツ	数量
01	アーム	1
02	ラバーキャップ	1
03	ケーブルカバー	1
04	コネクタープレート	1
05	ベースカバー	1セット

## 取り付け部品リスト

コード	パーツ	数量
06	ネジ	8

## 道具リスト

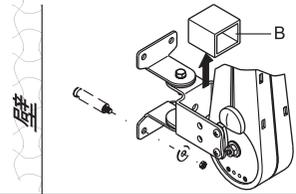
六角レンチ(T型)	
スパナ	



## 警戒：

商品の汚れは乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください、汚れのひどい場合は柔らかい布を少し湿らせてこすらずにふき取ってください。硬い布やブラシを使用するとキズなどの原因となります。  
また洗剤や溶剤の使用も避けてください、塗装やプラスチック部品に変形や塗装剥がれが起きる危険があります。商品には細かな部品や可動部品があります、お子様の手の届く場所での組立て・設置後の構成等は行わないようお願いします。

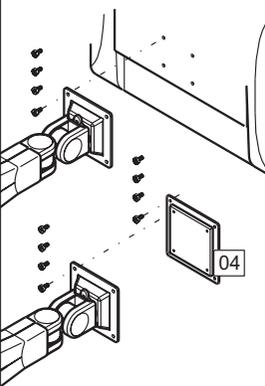
## 組立てガイド



組み立てる前に段ボール(B)を取り除いてください。  
 モニタを取り付ける前に4本のネジ(付属されておられません)でアームをしっかりと壁に固定してください。

注意：  
 強度の弱い壁に取り付ける場合は、必ず補強を入れてください。

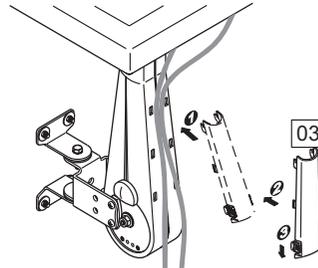
06 x8



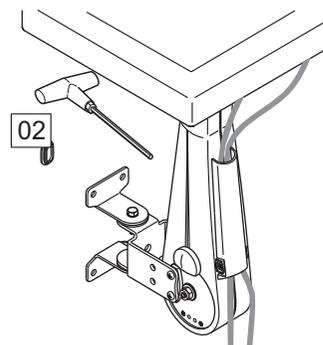
組み立てる前にモニターがどのVESA標準インターフェースに対応しているかご確認ください。

75mm x 75mm VESA標準インターフェース  
 4本ネジ06でモニタの後ろ部にアームを固定してください。

100mm x 100mm VESA標準インターフェース  
 4本ネジ06で100x100mmコネクタプレート04をアームに固定してください。次に、4本ネジ06でモニタの後ろ部にアームを固定してください。



アームにあるケーブルを整えた後、ケーブルカバー03を組み立て、ケーブルを収納してください。組み立てる前に、03を上向きに溝にロックし、ケーブルカバーフックがすべて、アームホールを押し込んだ後に、03を下向きに溝にロックしてください。



ゴムキャップ02を取り除いてください。それから6角レンチを使用して7~14キロまでの耐荷重を調整してください。重さ調整後にゴムキャップ02を元に戻してください。

調整：  
 必ず垂直な位置で重さを調整してください。  
 低荷重の場合は6角レンチで右回りの方向に回し、高荷重の場合は左回りの方向に回してください。  
 説明書の通りで重さを調整する前に、取り付けるモニタの重さを確認してください。

パネルの重さ	右回りの方向
14キロ	3~4回
13~12キロ	5~7回
11~10キロ	8~10回
9~8キロ	10~12回
7キロ	12~14回 目安となります。

重さの調整が終わった後にアームにベースカバーを組み立ててください。下記の手順の通りに行ってください。

- まず05-Lをアームに取り付けてください。そして、二つの位置は同時に合わなければなりません。
  - 05-Lの二つのピンがアームブラケットにある二つの穴の方向に向いてください。
  - 先端部分がアームブラケットにある穴に合っているかを確認してください。
- 05-Lをプッシュして、カチッという音を聞いたら、ピンがクリックされました。
- 05-Rも上記の通りで組み立ててください。そして、二つのベースカバーをしっかりと調整してください。



Fig.1

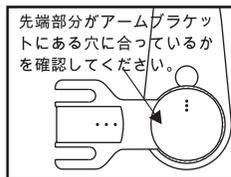


Fig.2

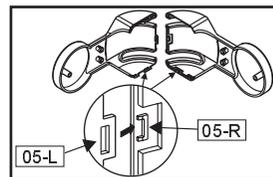
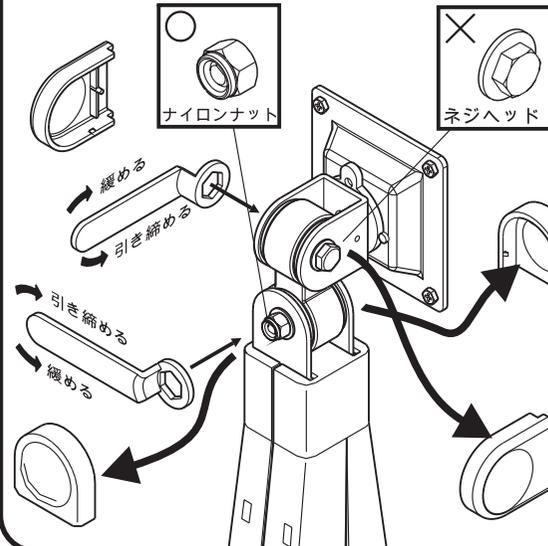


Fig.3

## モニター取付部の荷重調整

モニターをアームに取り付けた際、モニタの重さによって関節部の調整が必要になります。それにより、またご希望の固さに調整できます。(下記図参照)

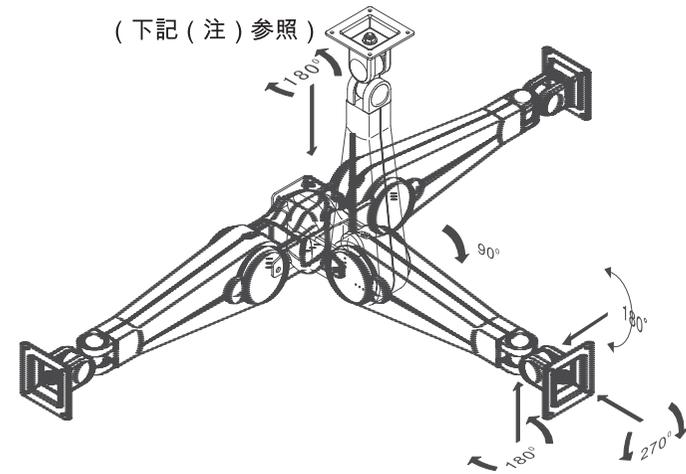


- プラスチックカバーを外します。
  - 付属品のスパナでナットの締め具合を調整します。
  - 片手でモニターを支えて、ナットの締めまりを調整します。
- ※右回り: 荷重を大きくします。  
 ※左回り: 荷重を小さくします。  
 d. 希望の固さに調整できたら、プラスチックカバーを取り付けて戻します。

- 注意事項
- 調整中はモニターを支えて下さい。
  - 調整はナット側で行います。
  - 商品を解体しないで下さい。

## LA-35可動範囲

(下記(注)参照)



(注) アーム支柱部は、ボルトとナットで固定され、他の関節のように自由に可動できません。固定角度は図のように左右各90度の範囲で傾けて固定することができます。

耐荷重: 7~14kg